

令和6年度 第6回 朝日丘地域会議 会議録

■日 時 令和6年10月10日(木) 午後6時30分～8時00分

■場 所 朝日丘交流館 2階 21会議室

■出席者 <委 員> 大岩 高也 日高 博憲 北垣 啓子
都築 正孝 永田 達也 縄村 恵子
日高 克二 深井 弘司 塩谷 耕一
永山 哲 鈴木 哲也 山本 チエ子
北村 親樹

<欠席者> 春日井 輝政

<事務局> 杉浦 智文(挙母事務所長) 塚田 征弘(地域支援課 担当長)
田中 和香(地域支援課 書記)

- 次 第
- 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 朝日丘の地域課題について(協議)
 - (1) 現在の取り組み
 - (2) 課題の深堀り・選定
 - 4 その他

■議 事(要約)

3 朝日丘の地域課題について(協議)

第5回の会議で両グループが発表した「地域会議で取り組むべき課題」について、市としての取り組みや、朝日丘地区で今ある取り組みを説明したうえで、課題に取り組むべき理由を共有、検討した。

<A グループ>

○防災の仕組みが不十分

・各自治区の災害用の備蓄には、何をどれだけ備えておく必要があるのか等の基準がない。

→個人の備蓄や、災害時に大型店を利用して食料を確保するというような仕組みを変えていく必要がある。

・自治区の役割や、支援物資を供給する仕組みについてもはっきりする必要がある。

○高齢者が利用できる公共交通機関がない

・遠くへいくためではなく、病院や買い物等の近場へ行くための公共交通機関がない。

・近場へいくことを前提とした足の仕組みづくりが必要である。

→カーシェアリングのようなボランティア活動としての仕組みがあると良い。

○子ども食堂の支援体制の不備

ボランティアの費用の持ち出しに対しての支援制度があることを周知する必要がある。

<B グループ>

○交通関係

・タクシーも捕まらず、個人の病院や近くのスーパーなど、近場へいくための足がない。

→水源のカーシェアリングの実例を参考に、自治区規模での実施や、消耗品（食品や日用品）等の移動販売を、山間部だけでなく街中でも実施できると良い。

- ・移動販売は、どういうものが欲されているのか等、自治区内でアンケートを取り、要望を知った上で行えると良い。

- ・大通りにバスが通っていない。

→どこにバスが通っていると利用者が見込めるのか、合わせて調査ができると良い。

○環境整備

- ・根本的に環境美化自体の回数や、人手が不足している。

→新たな人へ環境美化活動への参加を促し、今までやれていなかったエリアも活動ができれば良い。

○防災

- ・個人が所有している防災備品（その他災害時に使えるようなもの等）も近隣住民同士で知っているといい。

両グループの発表を踏まえ、取り組むべき課題に優先順位をつけたところ、①防災②交通関係③子ども食堂・環境美化という結果になった。交通関係に関しては、関係課や団体から話を聞く機会があればとの意見があったため、実施を検討する。

4 その他

（１）地域会議委員の選挙活動について

地域会議委員は非常勤公務員であるため、選挙活動には制限があることを説明した。

（２）中学校の授業へ参加について

日程調整を行い、詳細は後日連絡することとした。

（終了）